



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東
 コード番号 6250 URL <http://www.yamabiko-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 永尾 慶昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐野 雄一 TEL 0428-32-6111
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	31,871	6.4	2,390	32.1	2,295	29.2	1,253	△11.3
2019年12月期第1四半期	29,943	0.4	1,809	△22.5	1,777	11.1	1,414	12.5

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 543百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 1,564百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	30.21	—
2019年12月期第1四半期	34.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	109,025	55,370	50.8	1,334.51
2019年12月期	102,845	56,285	54.7	1,356.54

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 55,370百万円 2019年12月期 56,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	35.00	35.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	44,108,428株	2019年12月期	44,108,428株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	2,617,468株	2019年12月期	2,616,368株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	41,491,427株	2019年12月期 1 Q	41,314,844株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く市場環境は、国内外ともに天候は順調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各国での外出制限による生産・販売活動の停滞や各種イベントの中止に加え、消費者の購買意欲も減速するなど広範囲にわたり影響を受けて厳しい状況となりました。

また、為替相場は、前年同期間に比べて対ドル、対ユーロとも円高水準となりました。

このような環境の下、当社グループは2020年12月期を初年度とする新3ヶ年計画「中期経営計画2022」を策定し、前中期経営計画で掲げた基本方針を継続して取り組み、中長期的に各事業において確固たる位置付けを確立するとともに、新たな価値創造に挑戦し、更なる経営基盤の強化・企業価値の向上を図るため、各重点施策への取り組みを開始しました。

「中期経営計画2022」基本方針

- ・強い経営基盤を持ち、持続的に成長することで社会の発展に貢献し、やまびこにつながる全ての人々を幸せにします。
- ・革新的な製品を生み出し、グローバルに製造・販売・サービスを展開することで企業価値を高めるとともに、やまびこにつながる人々の多様な価値観に対応します。

当第1四半期連結累計期間においては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により当社グループの生産・販売活動などが制限される中においても、海外ではソーシャルメディアを積極的に使用したブランド力の向上を推進するとともに、国内の強固な販売網を活用した拡販に努めました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

	2019年12月期 第1四半期連結累計期間	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
売上高	29,943	31,871	6.4
国内	11,302	12,219	8.1
海外	18,641	19,651	5.4
米州	15,153	16,931	11.7
その他海外	3,488	2,719	△22.0
営業利益	1,809	2,390	32.1
経常利益	1,777	2,295	29.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,414	1,253	△11.3

[売上高]

国内：一般産業用機械、小型屋外作業機械が大きく伸長したことに加え、農業用管理機械も増加して増収となりました。

海外：米州以外の海外は大きく落ち込んだものの、米州が大きく伸長して増収となりました。

[損益]

営業利益は販売管理費の増加や円高による利益圧迫要因もありましたが、販売数量の増加や原価率が改善したことなどが利益を大きく押し上げて増益となりました。経常利益も増益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は繰延税金資産の取り崩しにより法人税等調整額が増加して減益となりました。

[セグメント別の業績]

① 小型屋外作業機械

	2019年12月期 第1四半期連結累計期間	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 20,398	百万円 21,642	% 6.1
国内	3,336	3,634	8.9
海外	17,061	18,007	5.5

国内：新製品を投入した刈払機が大きく伸長したことに加え、販売活動を強化しているアクセサリ、スペアパーツなどが好調に推移して増収となりました。

海外：主力の北米は、特にホームセンター向け刈払機が伸びて増収となりました。米州以外の海外ではアジアが増加したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って販売活動が制限された西欧やロシアのほか、豪州販売が低迷して減収となりました。海外全体では北米販売が牽引して増収となりました。

② 農業用管理機械

	2019年12月期 第1四半期連結累計期間	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 4,786	百万円 5,144	% 7.5
国内	3,841	3,975	3.5
海外	945	1,168	23.6

国内：省力化・効率化機械として需要が拡大しているモアや畦草刈機、高所作業機に加え、補助事業の対象となったスピードスプレーヤが伸長しました。

海外：米州は穀物価格が引き続き低迷したものの、ポテト関連製品の販売が好調に推移して増収となりました。

③ 一般産業用機械

	2019年12月期 第1四半期連結累計期間	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 4,285	百万円 4,647	% 8.4
国内	3,655	4,171	14.1
海外	630	475	△24.6

国内：主力の発電機が引き続き防災・減災、国土強靱化のためのインフラ整備など、旺盛な需要により大幅に増加したことに加え、建機レンタル向けも好調に推移したことなどにより増収となりました。

海外：米州以外の海外が低迷したことなどにより減収となりました。

④ その他

	2019年12月期 第1四半期連結累計期間	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	増減率
売上高	百万円 472	百万円 437	% △7.5
国内	468	437	△6.7
海外	3	0	△99.6

主要3事業以外の売上高は、主に除雪機販売が落ち込んだことなどにより減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて61億80百万円増加し1,090億25百万円となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加70億8百万円、仕掛品の減少9億43百万円等によるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて70億96百万円増加し536億55百万円となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加11億85百万円、借入金の増加52億56百万円、賞与引当金の増加8億8百万円等によるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて9億15百万円減少し553億70百万円となりました。

これは、利益剰余金の減少2億5百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億79百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.9ポイント減少し、50.8%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の収支は、営業活動によるキャッシュ・フローが34億44百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローが5億35百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが39億51百万円の収入となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の資金残高は61億87百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益22億82百万円、賞与引当金の増加額8億8百万円、売上債権の増加額71億45百万円、たな卸資産の増加額16億28百万円、仕入債務の増加額23億99百万円、未収消費税等の減少額10億77百万円等により、34億44百万円の支出（前年同四半期は29億34百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形及び無形固定資産の取得による支出6億29百万円等により、5億35百万円の支出（前年同四半期は11億48百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額53億4百万円、長期借入れによる収入5億44百万円、長期借入金の返済による支出5億49百万円、配当金の支払額13億22百万円等により、39億51百万円の収入（前年同四半期は43億32百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界経済の先行きは不透明であり、今後の当社事業への影響も予測できないことから、現時点では合理的な業績予想の算定を行うことが困難な状況であります。従いまして、2020年2月12日に公表いたしました2020年12月期第2四半期および通期の連結業績予想並びに期末配当予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能となりましたら、速やかに公表いたします。

詳細につきましては、本日（2020年5月13日）公表いたしました「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,262	6,187
受取手形及び売掛金	25,693	32,701
商品及び製品	23,434	24,170
仕掛品	3,103	2,160
原材料及び貯蔵品	10,797	12,426
その他	2,300	1,392
貸倒引当金	△322	△317
流動資産合計	71,270	78,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,508	8,335
土地	7,988	7,922
その他（純額）	7,711	7,477
有形固定資産合計	24,208	23,735
無形固定資産	668	612
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,611	1,630
その他	5,468	4,714
貸倒引当金	△382	△390
投資その他の資産合計	6,697	5,954
固定資産合計	31,575	30,302
資産合計	102,845	109,025

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,947	10,133
電子記録債務	11,975	13,038
短期借入金	2,972	8,256
1年内返済予定の長期借入金	2,578	2,015
未払法人税等	760	701
賞与引当金	—	808
製品保証引当金	1,091	721
厚生年金基金解散損失引当金	475	475
その他	5,050	4,308
流動負債合計	33,852	40,458
固定負債		
長期借入金	9,837	10,373
退職給付に係る負債	42	45
製品保証引当金	519	847
厚生年金基金解散損失引当金	1,492	1,190
役員株式給付引当金	105	117
その他	709	622
固定負債合計	12,706	13,197
負債合計	46,559	53,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,754	9,754
利益剰余金	39,957	39,752
自己株式	△940	△940
株主資本合計	54,771	54,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,039	559
為替換算調整勘定	548	317
退職給付に係る調整累計額	△72	△72
その他の包括利益累計額合計	1,514	804
純資産合計	56,285	55,370
負債純資産合計	102,845	109,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	29,943	31,871
売上原価	21,662	22,809
売上総利益	8,281	9,061
販売費及び一般管理費	6,471	6,671
営業利益	1,809	2,390
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	4	4
持分法による投資利益	1	14
受取ロイヤリティー	15	8
その他	85	28
営業外収益合計	107	58
営業外費用		
支払利息	71	43
為替差損	25	42
支払手数料	32	1
その他	10	65
営業外費用合計	140	153
経常利益	1,777	2,295
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除売却損	6	12
特別損失合計	6	12
税金等調整前四半期純利益	1,772	2,282
法人税、住民税及び事業税	808	792
法人税等調整額	△450	235
法人税等合計	358	1,028
四半期純利益	1,414	1,253
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,414	1,253

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,414	1,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	△479
為替換算調整勘定	62	△230
退職給付に係る調整額	7	0
その他の包括利益合計	150	△709
四半期包括利益	1,564	543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,564	543

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,772	2,282
減価償却費	780	846
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	0	△18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	5
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	71	43
賞与引当金の増減額 (△は減少)	830	808
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,185	△7,145
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,275	△1,628
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,859	2,399
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,100	1,077
持分法による投資損益 (△は益)	△1	△14
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	△58	△302
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	4	11
その他	△225	△966
小計	△2,316	△2,603
利息及び配当金の受取額	2	4
利息の支払額	△59	△47
法人税等の支払額	△561	△798
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,934	△3,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,149	△629
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	101
その他	△1	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,148	△535
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,280	5,304
長期借入れによる収入	5,200	544
長期借入金の返済による支出	△4,525	△549
配当金の支払額	△1,507	△1,322
連結子会社増資に伴う非支配株主からの払込による収入	35	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△111	—
その他	△39	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,332	3,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	242	△75
現金及び現金同等物の期首残高	4,641	6,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,884	6,187

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	20,398	4,786	4,285	29,470	472	—	29,943
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,232	3,470	3,561	20,265	526	△20,791	—
計	33,631	8,257	7,847	49,736	998	△20,791	29,943
セグメント利益 又は損失(△)	3,143	△191	284	3,236	82	△1,509	1,809

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,509百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	21,642	5,144	4,647	31,433	437	—	31,871
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,851	3,903	4,324	22,080	506	△22,587	—
計	35,494	9,048	8,972	53,514	943	△22,587	31,871
セグメント利益 又は損失(△)	3,551	△74	340	3,817	66	△1,493	2,390

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,493百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。